

2005 年 IEEE Kansai Section

総会資料

2005 年 2 月 10 日

IEEE Kansai Section

2005 年 IEEE Kansai Section 総会

- 1 . 日時： 2005 年 2 月 10 日 (木) 15 時 00 分 ~ 17 時 30 分
- 2 . 場所： 中央電気倶楽部 215 号室
530-0004 大阪市北区堂島浜 2-1-25
- 3 . 総会スケジュール
 - 1 . 支部長挨拶
 - 2 . 役員紹介
 - 3 . 2004 年活動報告および会計報告
 - 4 . 2005 年事業計画および予算案承認
 - 5 . Chapter 役員および活動紹介
 - 6 . IEEE Kansai Section GOLD Award 授賞式
 - 7 . IEEE Kansai Section 学生研究奨励賞授賞式
 - 8 . IEEE Kansai Section メダル授賞式
<休憩>
 - 9 . IEEE Kansai Section 新 Fellow 紹介及びスピーチ
 - 10 . 閉会の挨拶

IEEE Kansai Section GOLD Award 受賞者

(敬称略)

密山 幸男 (大阪大学)

IEEE Kansai Section 学生研究奨励賞受賞者

計 10 名 (受付順、敬称略)

河村 竜幸	(奈良先端科学技術大学院大学)
岩田 一貴	(京都大学大学院)
岩永 信之	(大阪大学大学院)
上田 悦子	(奈良先端科学技術大学院大学)
岩垣 剛	(奈良先端科学技術大学院大学)
辻野 孝輔	(京都大学大学院)
神崎 雄一郎	(奈良先端科学技術大学院大学)
Pattara Leelaprute	(大阪大学大学院)
班 涛	(神戸大学大学院)
山本 俊一	(京都大学大学院)

IEEE Kansai Section メダル受賞者

計 13 名 (アルファベット順、敬称略)

羽馬 洋之	(ティーエム・ティーアンドディー)
入野 俊夫	(和歌山大学)
伊東 健治	(三菱電機)
木戸出 正繼	(奈良先端科学技術大学院大学)
小林 哲郎	(大阪大学)
駒谷 喜代俊	(三菱電機)
小南 昌信	(大阪電気通信大学)
小山 正樹	(奈良先端科学技術大学院大学)
宮本 雅之	(シャープ)
三好 正人	(日本電信電話)
向井 良	(日本電信電話)
澤田 宏	(日本電信電話)
田邊 信二	(三菱電機)

IEEE Kansai Section 新 Fellow 氏名

計 5 名 (アルファベット順、敬称略)

浅田 稔	(大阪大学)
葛原 正明	(福井大学)
大森 裕	(大阪大学)
高橋 達郎	(京都大学)
富永 昌治	(大阪電気通信大学)

2004 年活動報告

1. 総会

2004 年 2 月 25 日 (水) に中央電気倶楽部 215 号室において、2004 年総会を実施した。2004 年新 Fellow12 名による講演も実施した。参加者：27 名

2. 役員会

第 1 回役員会 1 月 15 日 中央電気倶楽部 出席者：9 名

- ・ Japan Council 理事会報告 ・ MDC/SAC 合同 Meeting について
- ・ 2004 年総会について

第 2 回役員会 2 月 25 日 中央電気倶楽部 出席者：7 名

- ・ 2004 年総会について ・ Gold Award の受賞について
- ・ 会議協賛について ・ 新 Fellow について

第 3 回役員会 4 月 20 日 中央電気倶楽部 出席者：9 名

- ・ Japan Council 理事会報告 ・ 関西支部メダル施策について
- ・ 次期役員選出日程について

第 4 回役員会 7 月 13 日 中央電気倶楽部 出席者：10 名

- ・ Milestones Proposal 経過報告 ・ 関西支部メダル作成について
- ・ 立命館大学 Student Branch Presentation Competition について
- ・ 会計中間報告 ・ ENC の任命について ・ 会議協賛について

第 5 回役員会 9 月 14 日 中央電気倶楽部 出席者：8 名

- ・ Japan Council 理事会報告 ・ 次期役員候補選出について
- ・ 関西支部メダル施策について ・ 学生研究奨励賞について
- ・ Gold Award について ・ Committee の活動状況について

第 6 回役員会 11 月 9 日 中央電気倶楽部 出席者：8 名

- ・ 新役員の選挙経過について ・ 新旧役員引継スケジュールについて
- ・ 学生研究奨励賞の審査について ・ 関西支部メダルについて
- ・ 活動報告/活動計画の依頼について

第 7 回役員会 12 月 21 日 中央電気倶楽部 出席者：15 名

- ・ Japan Council 理事会報告 ・ 活動報告/活動計画について
- ・ 会計中間報告/予算案について ・ Gold Award 審査について
- ・ 学生研究奨励賞の審査について ・ 関西支部メダル授与について
- ・ 新 Fellow の報告について ・ 新 Fellow 候補の推薦について
- ・ 技術講演会の開催について

3. 主催講演会

Technical Program Committee の企画により以下の支部主催講演会を実施した。

・ 関西支部主催第 24 回技術講演会

日時：2004 年 6 月 8 日 (火) 13:30 ~ 14:30

場所：(株) 国際電気通信基礎技術研究所 (参加者 91 名)

題目：Communication Between a Musician and Her Instrument

講演者：Dr. Robert Moog

・ 関西支部主催第 25 回技術講演会

日時：2004 年 9 月 10 日（金） 18:30～20:00

場所：大阪産業創造館（参加者 40 名）

題目：「ゲーム産業と教育機関の連携をどう進めるのか？

大学研究者とのリレーションシップづくり：

2つの世界のインターアクション」

講演者：ジョン・ブキャナン氏

（エレクトロニック・アーツ社 ユニバーシティ・リサーチ・リエゾン）

・ 関西支部主催第 26 回技術講演会

日時：2004 年 11 月 19 日（金） 13:30～15:00

場所：NTT コミュニケーション科学基礎研究所（参加者 40 名）

題目：ペタフロップス・コンピューティングの世界

講演者：戎崎俊一氏（理化学研究所 情報基盤研究部）

・ 関西支部主催第 27 回技術講演会

日時：2004 年 11 月 29 日（月） 13:30～15:30

場所：(株)国際電気通信基礎技術研究所（参加者 56 名）

題目：Biometrics: A Grand Challenge

講演者：Prof. Anil K. Jain (Michigan State University)

・ 関西支部主催第 28 回技術講演会

日時：2004 年 12 月 10 日（金） 13:00～15:00

場所：兵庫県立大学（参加者 60 名）

題目：ここまできた RFID 技術：無線タグビジネスの最新情報と今後の動向

講演者：松村謙次氏（株式会社 KCS 社長）

・ 関西支部主催第 29 回技術講演会

日時：2004 年 12 月 10 日（金） 13:30～15:00

場所：大阪大学（参加者 25 名）

題目：Content-based Image Retrieval in Digital Image Databases using Structure, Color and Texture

講演者：J. K. Aggarwal (University of Texas)

4. 各 Committee 活動

a. Membership Development Committee

(1) 2003 年度と同様に数値目標を設け、各々の機関で会員増加活動を行った。本年度は Member 会員の特典を知って頂くため、特に重点的に Senior Member への Up Grade を推奨した。これに伴い各機関に新規 Member 会員の勧誘も併せて依頼し、増加活動の強化を図った。

(2) Student Activity Committee との連携を強めて学生会員の増強を図った。

(3) 新 Senior Member へ関西支部メダルを授与することを決めた。その結果、9 月末で 10 人の Senior Member が増えた。このように昨年に比べて激増したのは上記(1)の活動の成果と思われる。本年度は会員数が

順調に伸び、10月末で最多記録をさらに更新して1900人を越えた。学生会員の増加も大きな要因であり、活動(2)の成果とみられる。

b. Nominations Committee

(1) 昨年と同様に、支部役員の方々と連携をとり、Senior Member の拡大をはじめとする、正会員や学生会員の拡大活動を行った。

(2) 2005年のFellow Nominationに関して、昨年同様の手続き、すなわち、関西支部内の現Fellowに対し、新Fellowの推薦を依頼し、IEEE関西支部からの推薦者を決定することとしたが、推薦依頼時期を大幅に早めて、11月5日(金)にFellow有資格者57名(E-mailアドレスの判明している方々)に対し、Fellow推薦依頼状をお送りした。推薦されたSenior Memberに連絡をとり、現在、申請準備を進めている候補者は15名である。速やかに処理を進め3月1日の期限に間に合うようIEEE本部へ全ての書類を送付すべく手配している。

なお、昨年、関西支部からendorseした人数は10名であった。

(3) 関西支部会員の中から支部推薦10名を含む12名が本年(2004年)1月1日付けで新Fellowとなった。藤岡 弘、池田 雅夫、牧野 昭二、村上 孝三、中村 行宏、野澤 博、大平 孝、管村 昇、高森 年、富沢 治、山本 誠一、吉野 勝美、の各氏である。

c. Student Activities Committee

本年目標とした新しいStudent Branchの設立は達成できなかったが、これまで創設された4大学(大阪大学、京都大学、立命館大学、奈良先端科学技術大学院大学)のStudent Branchを中心に、昨年に引き続き、学生会員の増強、学生会員の活動支援、対外的活動、等を行った。その結果、学生会員数の増加は達成された。

2月の総会において、昨年に新設された奈良先端科学技術大学院大学Student Branch設立への貢献により、奈良先端科学技術大学院大学の杉直樹君がGold Awardを受賞した。

奈良先端科学技術大学院大学と立命館大学のStudent Branchにホームページを開設し、学生会員への入会の勧誘、Student Branch間の情報交換の促進に努めた。

大阪大学 <http://www-ise2.ist.osaka-u.ac.jp/ieee/>

京都大学 <http://ieee.kuee.kyoto-u.ac.jp/>

立命館大 <http://www.ieee.vlsi.ritsumeai.ac.jp/>

奈良先端大 http://se.naist.jp/sb/joinus_ja.html

7月には、立命館大Student Branchにおいて、第1回立命館大学IEEE Student Branch Presentation Competitionを開催し、優秀発表者3名にIEEE関西支部Student Activities Committeeから表彰状を授与した。また、7月16~18日に香港でRegional 10 Student Congress 2004が開催され、関西支部からは阪大、京大、立命館大から学生が参加した。

8月には、IEEE関西支部学生研究奨励賞の企画を行い、9月の役員会で

承認、本年度から授賞することが決まった。10月から募集、11月19日に募集を締め切り、Award Committee 委員と Student Activities Committee 委員からなる学生研究奨励賞審査委員会で審査を行い、1月の役員会で受賞者を決定、授賞式は2月の総会で行われる予定。

10月には関西支部の4大学 Student Branch の学生が中心になって第2回 IEEE-KSC 交流会を大阪大学で開催し、他大学、他研究分野の学生間での交流を目的とし、ワークショップ形式で、各大学から2、3名の発表者が研究テーマの紹介などを行い、幅広く議論を行い交流を深めた。

11月には香川大学において IEEE Japan Council 主催の IEEE 学生ブランチリーダーシップトレーニングワークショップが開催され、関西支部の4大学 Student Branch から役員や学生の学生諸君が参加した。

d. Technical Program Committee

昨年と同様、技術講演会の開催を主たる活動とした。開催は年5~6回の計画に対し、6回(6月8日、9月10日、11月19日、11月29日、12月10日)の技術講演会を実施した。開催場所としては、大阪産業創造館、ATR、NTT コミュニケーション科学基礎研究所、兵庫県立大学、大阪大学で行った。講演会は、約30人~90人の聴講者(第24~29回計312人)があり活発な議論が行われ盛会であった。従来から大学・研究機関との協調で実施してきているが、今年はさらにロボカップ2005大阪世界大会委員会との共催も実施して参加者の拡大につとめた。

e. Awards Committee

2003年に引き続き「IEEE Kansai Section GOLD Award」の募集・選定の作業を継続して若手会員の増強を図った。ニューズレターおよび関西支部インターネットを通じての公募を行い、当委員会による選定を行い、受賞者を支部役員会で決定した。なお、2004年度も GOLD Award の表彰楯は、Japan Council の Section 支援費よりご支援頂き作成を行った。また、本年度より SAC と合同で IEEE 関西支部学生研究奨励賞の審査を行った。本賞については、Japan Council の Section 支援費より、賞状作成費ならびに副賞のご支援を頂いた。GOLD 賞ならびに関西支部学生研究奨励賞については、2005年度の総会において授与する予定である。

5 . Kansai Chapter 活動報告

a . EDS (Electron Devices Society) Kansai Chapter

昨年好評であった EDS Video Library を活用した Educational Meeting(ビデオ上映会)の第2回を、1月14日京都大学桂ホールにて開催した。2002 IEDM の Shout Course から、”RF Device Technologies for Communication Systems” を上映、若手研究者を中心に約40名の参加を得た。

3月9日には恒例の関西コロキウム電子デバイスワークショップをキャンパスプラザ京都にて開催、関西在住の研究者による国際レベルの研究成果を日本語にて発表し、活発な議論が行われた。当日発表の論文から3名の MFSK

Award を選考し、受賞者に記念盾を贈呈した。

7月26-28日には、昨年に続いて第2回となる関西発の電子デバイスの国際会議、"2004 International Meeting for Future of Electron Devices, Kansai (2004 IMFEDK)" を京都大学桂ホールにて開催した。基調講演に大会委員長でもある西義雄先生(スタンフォード大)、松波弘之先生(京都大)、J.B. Kuo 先生(国立台湾大学)を招き、招待講演7件を含む49件の論文発表(口頭、ポスター)に加え、Tutorial 講演会、企業展示会を行うなど盛大な催しとなった。学生や若手研究者を中心に約200名の参加者を集め、盛況のうちに終了した。

この他に本年度は Distinguished Lecturer を招いての技術講演会も行った。5月12日には京都大学にてローム(株)専務取締役の高須秀視氏による「強誘電体メモリのロジック応用に関する技術動向」、11月19日には大阪大学にて松下電器産業(株)半導体デバイスセンター所長の上田大助氏による「半導体デバイスの最前線」の2件のDL Meeting を開催し、学生をはじめとする若手研究者の好評を博した。

この他、EDS News Letter に活動成果を投稿し、1月、4月、7月、10月各号に記事掲載された。

b . SSCS (Solid State Circuits Society) Kansai Chapter

2004年1月30日に「RF・ミックスドシグナル 回路設計講習会」、2004年3月19日には技術講演会を主催し、冨澤 治教授(高知工科大学)および Dr. Nicky Lu の2名のIEEE Fellow を招いた。2004年8月には国際会議"2004 IEEE Aisa-Pacific Conference on Advanced System Integrated Circuits"を福岡にて開催し、さらに2004年10月25日にも技術講演会を主催、金本俊幾様および Dr. Nishath Verghese を招いた。いずれも盛況の内に終了した。なお、技術講演会の詳細は下記のURLに掲載している。

<http://www.cs26.scitec.kobe-u.ac.jp/~sscs/>

この他、システムLSI ワークショップには、SSCS Japan Chapter とともに協賛し、大学からのポスター発表の優秀者に対してIEEE SSCS Japan Chapter 奨励賞を授与した。この他、STARC シンポジウム、VDEC リフレッシュ教育、等々、この分野の技術者及び学生が多数集るイベントに協賛し、活動のアピールと会員獲得に務めた。

c . CAS (Circuits and Systems Society) Kansai Chapter

2004年1月30日に、広島大学において技術講演会「ハイブリッド関数ペトリネットによる分裂酵母細胞周期のモデル化とシミュレーション」(電子情報通信学会コンカレント工学研究会及び「ハイブリッドダイナミカルシステム理論とその応用」第3種研究会と共催)を開催し、24名の参加者を得た。講師の山口大学松野浩嗣氏は、近年注目を集めているシステムバイオロジーの第一人者であり、質の高い講演と共に活発な議論を行うことができた。3月31日には、京都キャンパスプラザで、情報処理学会関西支部「VLSI システム研究会」主催、当チャプタ協賛で研究会を開催した(参加者18名)。この研究会では、京都大学八杉昌宏氏による「並列処理とプログラミング言

語」に関する講演と名古屋大学富山宏之氏による「動作合成の基礎と動向」に関する講演を受け、活発な研究討論を行った。11月19日には、大阪大学にて、松下電器産業の上田大助による「半導体デバイスの最前線」と題する技術講演会を当チャプタと EDS 関西チャプタとの共催で開催し、45名の参加者を得た。講師の上田大助氏は、IEEE Distinguished Lecturer でもあり、大変質の高い講演内容であった。本講演会は、大阪大学工学研究科電気工学専攻大学院生の教育を主眼の一つとするものでもあったが、学外からも多くの参加者があり、この分野に対する社会的関心の高さを示した。

6. 協賛会議

- ・ コンピュータを利用した創造・連携・協調に関する国際会議
日時：2004年1月29日(木)～30日(金)
場所： 京都けいはんなプラザ
- ・ シンポジウム「ハイブリッドシステムの解析と制御 近未来の制御系設計を目指した新しい芽の集結」
日時：2004年3月18日(木)～19日(金)
場所： 大阪大学(吹田キャンパス銀杏会館)
- ・ システム制御情報セミナー2004「超微細技術が支えるセンシングと制御」
日時：2004年10月4日(月)～5日(火)
場所： 立命館大学大阪オフィス

7. Region 10 Meeting

2004年4月16日(金)～17日(土)の日程でオーストラリア・アデレードにて開催された Region 10 Meeting には、関西支部より白川 Chair、山本 AC Chair が出席した。支部運営に関する Tutorial、Training Session などが中心であった。

8. 情報の発信

- (1) 支部 Web ページ
支部の Web ページによる積極的な情報発信を継続した。
- (2) 電子メール・FAX・葉書の利用
Japan Council 事務局へ依頼することにより、技術講演会等の案内もタイムリーに、電子メール・FAX・支部 Web を用いて広く公告するなど情報発信に努めた。また、FAX 送信時に電子メール登録 (<http://homepage1.nifty.com/ieeetokyo/email4.htm>) を働きかける情報を添付した。
- (3) Newsletter
Kansai Section Gold 賞の募集をはじめ支部に関する情報を Newsletter 形式で継続して提供した。

2004 年 IEEE 関西支部会計報告

収入の部 予算案 (単位: 円)

収入の部	予算案	(単位: 円)	
IEEE Entity 間勘定	4,985,278	4,634,903	
・ Section Rebate (IEEE 本部より)	1,028,318	1,033,614	\$9,427.35 (注1) 8/16 入金
・ Section Assessment (同上)	3,920,000	3,598,000	\$33,560.31 3/17 入金
・ MDC Subsidy/Grants for Student Branch	22,660	---	次年度本部より入金予定
・ The Nominate Senior Member Initiative	3,300	3,289	\$30.00 8/16 入金
・ Student Branch 設立支援金	11,000		次年度本部より入金予定
その他	60,000	384,720	
・ Section 支援費	60,000	60,000	JC より (Gold Award 楯代) 1/5
・ Section 支援費		324,720	JC より (関西支部メダル代) 8/9
利息		20	2/16, 8/16
繰越金	1,292,697	1,292,697	
合計	6,337,975	6,312,340	

Rebate 内訳 { \$2,000 + \$4 × (Fellow, Senior 会員数 = 167) + \$3 × (Member, Associate, Student 会員数 = 1,683) + \$1.5 × (Affiliate 会員数 = 181) + \$200 × (Chapter 数 = 2 (CAS, EDS)) } × 1.10 + \$200 (Section Bonus)

Student Branch 支援金は奈良先端科学技術大学院大学設立分

Section Assessment 後期分 (\$1,230.43) は次年度入金予定

支出の部 予算案 (単位: 円)

支出の部	予算案	(単位: 円)	
IEEE Entity 間勘定	4,008,000	3,651,143	
・ Japan Council 拠出金	3,920,000	3,597,790	7/16
・ Chapter Rebate	66,000	43,856	\$200.00 × 2 (CAS, EDS へ) 9/7
・ Student Branch 支援金	11,000	---	
・ Banner 代	11,000	9,497	\$86.62 IEEE 本部へ 8/16
会合・AWARD 費	1,065,000	824,863	
・ 総会費	150,000	147,520	会場費、資料代など 2/25
・ 講演会	200,000	60,000	謝金など 9/7, 12/10
・ 役員会費	350,000	284,143	1/15, 2/25, 4/20, 7/13 9/14 11/9, 12/21
・ Committee 会合費	300,000	250,000	MDC/SAC 5/6, 12/6
・ Award 費	65,000	64,200	受賞者交通費を含む 2/25
・ 立命館大学 Student Branch		19,000	Presentation Competition 9/7
事務経費	110,000	69,870	
・ 通信費	5,000	0	
・ 事務用品費	5,000	30,870	印鑑代
・ 旅費	100,000	39,000	7/16, 9/27, 11/11
雑費	15,000	34,474	為替手数料, 振込手数料, 上林先生供花代など
2005 年への繰越	1,139,975	1,731,990	(注2)
合計	6,337,975	6,312,340	

(注1) Section Rebate 換金レート (109.64 円/\$) / Section Assessment 換金レート (107.21 円/\$)

(注2) 関西支部メダル費用 324,720 円を差し引いた正味の繰越額は, 1,407,270 円となる

関西支部会員数

1. グレード別会員数

2004.12.31 現在

グレード	Grade Code	会員数
Honorary Member	HM	0
Life Fellow	LF	23
Fellow	F	48
Life Senior Member	LS	4
Senior Member	SM	94
Pending Senior Member	PS	0
Life Member	LM	27
Member	M	1,401
Pending Member	PM	0
Life Associate	LA	0
Associate	A	88
Student	S	278
Total		1,963
Affiliate of an IEEE Society	AF	162

上記集計では、Active 会員のみをカウントし、かつ、他のセクションへの移籍者等は含まない。

2004 年 12 月において AR (1 年未満滞納者) は 128 名である。

2 . ソサイエティ別会員数

2004.12.31 現在

ソサイエティ	Code	会員数
Signal Processing	SP-01	157
Broadcast Technology	BT-02	8
Antennas and Propagation	AP-03	60
Circuits and Systems	CAS-04	142
Nuclear and Plasma Science	NPS-05	23
Vehicular Technology	VT-06	44
Reliability	R-07	11
Consumer Electronics	CE-08	23
Instrumentation and Measurement	IM-09	22
Aerospace and Electronic Systems	AES-10	19
Information Technology	IT-12	50
Industrial Electronics	IE-13	31
Engineering Management	EM-14	20
Electron Devices	ED-15	197
Computer	C-16	597
Microwave Theory and Techniques	MTT-17	154
Engineering in Medicine and Biology	EMB-18	58
Communications	COM-19	219
Ultrasonics, Ferroelectronics and Frequency Control	UFFC-20	32
Components, Packaging and Manufacturing Technology	CPMT-21	26
Oceanic Engineering	OE-22	11
Control Systems	CS-23	104
Robotics and Automation	RA-24	96
Education	E-25	11
Professional Communication	PC-26	1
Electromagnetic Compatibility	EMC-27	21
System, Man and Cybernetics	SMC-28	97
Geoscience and Remote Sensing	GRS-29	13
Social Implications of Technology	SIT-30	7
Power Engineering	PE-31	60
Dielectrics and Electrical Insulation	DEI-32	14
Magnetics	MAG-33	43
Industry Applications	IA-34	41
Power Electronics	PEL-35	38
Lasers and Electro-Optics	LEO-36	118
Solid-State Circuits	SSC-37	168
Total		2,736

2005 年 IEEE Kansai Section 役員

Section Officers

Chair:	小山 正樹	(奈良先端科学技術大学院大学)
Vice Chair:	谷岡 匠	(関西電力)
Secretary/Treasurer:	石田 文章	(関西電力)

理事

MDC Chair:	橋本 正弘	(大阪電気通信大学)
NC Chair:	中村 行宏	(京都大学)
SAC Chair:	藤原 秀雄	(奈良先端科学技術大学院大学)
TPC Chair:	山本 誠一	(ATR 音声言語コミュニケーション研究所)
AC Chair:	山本 幹	(大阪大学)

理事 (Past Officers, Past Committee Chairs)

Past Chair:	白川 功	(兵庫県立大学)
Past Vice Chair:	管村 昇	(日本電信電話)
Past Secretary/Treasurer:	前田 英作	(日本電信電話)
Past TPC Chair:	間瀬 健二	(ATR メディア情報科学研究所 / 名古屋大学)

Committee Officers

a. Membership Development Committee :

Chair:	橋本 正弘	(大阪電気通信大学)
Secretary:	土居 元紀	(大阪電気通信大学)
Member:	太田 有三	(神戸大学)
	片桐 恭弘	(ATR メディア情報科学研究所)
	勝川 保	(住友電気工業)
	勝山 豊	(大阪府立大学)
	宮本 雅之	(シャープ)
	阪部 茂一	(三菱電機)
	庄中 永	(オムロン)
	瀬恒 謙太郎	(松下電器産業)
	辰巳 昭治	(大阪市立大学)
	福田 秀樹	(関西電力)
	藤田 智弘	(立命館大学)
	松平 盛夫	(三洋電機)
	三好 正人	(日本電信電話)
	酒井 英昭	(京都大学)

b. Nominations Committee :

Chair:	中村 行宏	(京都大学)
Member:	和田 修	(神戸大学)
	山本 裕	(京都大学)
	池田 雅夫	(大阪大学)
	片桐 滋	(日本電信電話)
	植村 俊亮	(奈良先端科学技術大学院大学)

c. Student Activities Committee :

Chair:	藤原 秀雄	(奈良先端科学技術大学院大学)
Member:	尾上 孝雄	(大阪大学)
	小野寺 秀俊	(京都大学)
	沼 昌宏	(神戸大学)
	松本 健一	(奈良先端科学技術大学院大学)
	柳田 益造	(同志社大学)
	山内 寛紀	(立命館大学)

d. Technical Program Committee :

Chair:	山本 誠一	(ATR 音声言語コミュニケーション研究所)
Vice Chair:	大森 裕	(大阪大学)
Secretary:	三好 正人	(日本電信電話)

e. Awards Committee :

Chair:	山本 幹	(大阪大学)
Member:	朝香 卓也	(京都大学)
	石浦 菜岐佐	(関西学院大学)
	太田 能	(神戸大学)
	大橋 正治	(大阪府立大学)
	岡 育生	(大阪市立大学)
	黒江 康明	(京都工芸繊維大学)
	近藤 晴房	(三菱電機)
	千葉 徹	(シャープ)
	戸出 英樹	(大阪大学)
	山内 寛紀	(立命館大学)

2005 年 Kansai Chapter 役員

EDS (Electron Devices Society) Kansai Chapter :

Chair:	谷口 研二	(大阪大学)
Vice Chair:	西村 正	(ルネサステクノロジ)
Secretary:	松岡 俊匡	(大阪大学)
Treasurer:	益子 洋治	(ルネサステクノロジ)

SSCS (Solid State Circuits Society) Kansai Chapter :

Chair:	山内 寛紀	(立命館大学)
Vice Chair:	山内 寛行	(松下電器産業)
Secretary:	藤野 毅	(立命館大学)
Treasurer:	宮本 雅之	(シャープ)

CAS (Circuits and Systems Society) Kansai Chapter :

Chair:	熊谷 貞俊	(大阪大学)
Vice Chair:	神戸 尚志	(近畿大学)
Secretary:	土居 伸二	(大阪大学)
Treasurer:	山田 晃久	(シャープ)

2005 年 IEEE Kansai Section 事業計画

1 . 総会

2005 年 2 月 10 日 (木) 15:00 ~ 18 : 00 の予定で、2005 年定例総会を実施する。

2 . 支部主催講演会

Technical Program Committee の企画により、講演会を実施する。

3 . 役員会

第 1 回役員会 1 月 18 日 中央電気倶楽部

・ 2005 年事業計画 ・ 2005 年各 Committee の事業計画

第 2 回役員会 2 月 10 日 中央電気倶楽部

・ 2005 年総会について

2005 年中に、さらに数回の役員会を開催する予定である。

4 . 関西支部 Gold Award

2004 年に引き続き、Award 受賞候補者を公募し、該当者を表彰する。

5 . 関西支部学生研究奨励賞

2004 年に引き続き、学生研究奨励賞受賞候補者を公募し、該当者を表彰する。

6 . 関西支部支部メダル

2004 年に引き続き、新 Senior Member に対して関西支部支部メダルを授与する。

7 . 各 Committee 活動

a . Membership Development Committee

(1) Senior Member のメダリストをさらに増やすことで、本年度と同様に会員の増加に結びつける。

(2) 本年度以上に Student Activity Committee と連携を深め、学生会員の増加につなげる。

b . Nominations Committee

(1) 2004 年と同様に、Membership Development Committee と共同して Senior Member だけではなく、正員、学生員の拡大をも図る。

(2) Fellow 候補者をできるだけ多く Nominate する。Fellow Nomination に関して、2004 年と同一手順で実行の予定。そのために、まず、正確な Senior Member のデータを作成する。

c . Student Activities Committee

(1) Student Branch の設立

昨年に引き続き、学生会員の勧誘を進め、Student Branch の設立に向け努力を継続する。既設の大阪大学、立命館大学、京都大学、奈良先端科学技術大学院大学に加え、神戸大学、他を対象に Student Branch の設立を目指す。

(2) 学生を対象とした講演会、見学会、IEEE 活動説明会を兼ねたイベントを企画し、学生会員の一層の増加を図る。関西支部の 4 大学 Student Branch を中心に、交流会を引き続き開催し、Student Branch 間の交流を深める。2004 年から開始した IEEE 関西支部学生研究奨励賞を (Awards Committee と共同して) 継続して企画し、優れた英文論文を発表した学生を表彰し、学生会員の研究を奨励する。

(3) 関西支部配下の Student Branch の 2005 年の体制は以下の通りである。

1 . 大阪大学

Counselor: 尾上 孝雄 (大阪大学 教授)
Mentor: 岡田 圭介 (ルネサステクノロジ)
Chair: 松村 友哉 (修士 2 回生)
Vice-Chair: 渡辺 賢治 (修士 1 回生)
Treasurer: 今井 林太郎 (修士 1 回生)
Secretary: 西川 裕規 (修士 1 回生)
Website URL: <http://www-ise2.ist.osaka-u.ac.jp/ieee/>

2 . 京都大学

Counselor: 中村 行宏 (京都大学 教授)
Mentor: 澤田 宏 (日本電信電話)
Chair: 神山 真一 (修士 2 回生)
Vice-Chair: 下津 佑介 (修士 1 回生)
Treasurer: 木全 哲也 (修士 1 回生)
Secretary: 菅野 裕揮 (学士 4 回生)
Website URL: <http://ieee.kuee.kyoto-u.ac.jp/>

3 . 立命館大学

Counselor: 福井 正博 (立命館大学 教授)
Mentor: 村田 博幸 (松下電器産業)
Chair: 三木 拓司 (修士 1 回生)
Vice-Chair: 豊留 直樹 (修士 1 回生)
Treasurer: 坂井田 稔 (学士 4 回生)
Secretary: 原田 大輝 (学士 4 回生)
Website URL: <http://www.ieee.vlsi.ritsumei.ac.jp/>

4 . 奈良先端科学技術大学院大学

Counselor: 松本 健一 (奈良先端科学技術大学院大学 教授)
Mentor: 阪井 誠 (S R A 先端技術研究所)
Chair: 神崎 雄一郎 (博士 2 回生)
Vice-Chair: 栗山 進 (博士 1 回生)
Treasurer: 山内 寛己 (博士 1 回生)
Secretary: 柿元 健 (修士 2 回生)

Website URL: http://se.naist.jp/sb/joinus_ja.html

d . Technical Program Committee

2004 年と同様、講演会の開催を主たる活動とする。2005 年も 5 回以上の企画・開催を目指す。従来から継続している、大阪・京都地区での講演会の開催、会員からの講演会の提案受付、シリーズ講演会の開催などは今後も引

き続き積極的に取り組んでいく。IEEE Distinguished Lecturer による講演会等の企画にも取り組む。なお、添付資料 (p.22) 「技術講演会企画実施要領」を示す。

e . Awards Committee

2004 年に引き続き「IEEE Kansai Section GOLD Award」の募集・選定作業、ならびに「IEEE 関西支部学生研究奨励賞」の選定作業を継続して若手会員の増強を図る。また、中長期的視点で学生会員や若手会員のさらなる増強をねらい、予算措置を視野に入れながら新企画の検討を行う。

8 . Kansai Chapter 活動計画

a . EDS (Electron Devices Society) Kansai Chapter

本年も国際会議、技術講演会を中心に積極的に活動を展開する。国際会議 "International Meeting for Future of Electron Devices, Kansai (IMFDEK) "を本年も主催し、海外からの参加者を増やす目的で開催を 4 月 11-13 日とする予定である。これに伴い、定例の関西コロキウム電子デバイスワークショップは秋に開催する予定である。好評であったビデオ上映会は本年も継続すると共に、Distinguished Lecturer を招いての技術講演会 (DL Meeting) も積極的に行う予定にしている。この他、関西地区で開催される各種会議・研究会にも積極的に協賛し、引き続き会員獲得にも努めていく計画である。

b . SSCS (Solid State Circuits Society) Kansai Chapter

2005 年も技術講演会を中心に活動し、学生や若手研究者を主な対象とした質の高い講演と技術情報の提供を行い、会員獲得につなげることを目標とする。6 月と 10 月頃に技術講演会を開催し、国内外より著名な VLSI 設計関連の技術者を招く予定である。また、関西地区で開催される各種研究会、ワークショップにも積極的に協賛し、会員獲得につとめる計画である。

c . CAS (Circuits and Systems Society) Kansai Chapter

2005 年も 2004 年と同様に、技術講演会を中心に活動し、学生や若手研究者を主な対象とした質の高い講演と技術情報の提供を行い、会員獲得につなげることを目標とする。また、関西地区で開催される各種研究会、ワークショップにも積極的に協賛し、学会活動への貢献と会員獲得につとめる計画である。

9 . 協賛会議

他学会・組織と連携し、協賛会議の実施を検討する。現在以下の協賛会議の実施が決定している。

(1) International Conference on Entertainment Computing 2005 (ICEC2005)

日時：2005 年 9 月 19 日 (月) ~ 21 日 (水)

場所：関西学院大学三田キャンパス

<http://ist.ksc.kwansei.ac.jp/ICEC2005/index.html>

2005 年 IEEE 関西支部予算

収入の部

(単位：円)

IEEE Entity 間勘定	4,703,185	
・ Section Rebate (IEEE 本部より)	1,018,710	\$9,702
・ Section Assessment (同上)	129,195	\$1,230.43 (2004 年度後期末入金分)
・ Section Assessment (同上)	3,520,000	
・ MDC Subsidy/Grants for Student Branch	21,630	\$206.00 (2004 年度未入金分)
・ The Nominate Senior Member Initiative	3,150	\$30.00
・ Student Branch 設立支援金	10,500	\$100.00
その他	703,320	
・ Section 支援金	58,800	J C より (Gold Award 楯代)
・ Section 支援金	319,800	J C より (学生奨励賞代)
・ Section 支援金	324,720	J C より (関西支部メダル代)
繰越金	1,731,990	
合計	7,138,495	

105 円/\$として計算

Rebate 内訳 { \$2,000 + \$4 × (Fellow, Senior 会員数 = 169) + \$3 × (Member, Associate, Student 会員数 = 1,767) + \$1.5 × (Affiliate 会員数 = 162) + \$200 × (Chapter 数 = 3) } × 1.10

Student Branch 支援金は奈良先端科学技術大学院大学設立分

支出の部

(単位：円)

IEEE Entity 間勘定	3,593,500	
・ Japan Council 拠出金	3,520,000	
・ Chapter Rebate	63,000	\$200.00 × 3
・ Student Branch 設立支援金	10,500	\$100.00
会合・AWARD 費	1,559,520	
・ 総会費	150,000	会場費、資料代など
・ 講演会	150,000	謝金など
・ 役員会費	250,000	
・ Committee 会合費	300,000	
・ Award 費	65,000	受賞者交通費を含む
・ 学生研究奨励費	319,800	
・ 支部メダル費	324,720	
事務経費	60,000	
・ 通信費	5,000	
・ 事務用品費	5,000	
・ 旅費	50,000	
雑費	20,000	為替手数料,振込手数料など
2006 年への繰越	1,905,475	
合計	7,138,495	

105 円/\$として計算

関西支部 Bylaws

IEEE KANSAI SECTION BYLAWS

In all instances, the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Bylaws, Constitution, Policy and Procedures manual, and the Regional Activities Board (RAB) Bylaws and Operations Manual will prevail when there is a conflict between these documents and Section Bylaws.

ARTICLE I --- Name and Territory

Section 1

This organization shall be known as the Kansai Section of the IEEE.

Section 2

The territory of the Kansai Section, as approved by RAB, includes the following:

Osaka, Kyoto, Hyogo, Nara, Shiga, and Wakayama prefectures, JAPAN

(The districts with the postal codes starting with 52 through 67 inclusive.)

ARTICLE II --- Officers

Section 1

The elected officers of the Kansai Section shall be the 4 Executive officers: Chair, Vice Chair, Secretary & Treasurer. The offices of the Secretary and Treasurer may be combined.

Section 2

The terms of office of the elected officers shall be for 2 years.

Section 3

Terms of office will begin on January 1 but, in any case, the outgoing officers will continue until their successors are duly elected and take office. The consecutive period of service shall not exceed two years.

Section 4

Any vacancy occurring during the year shall be filled by a majority vote of the Section Executive Committee.

ARTICLE III --- Standing Committee

Section 1

The Standing Committees of the Section will be as follows:

- Membership Development Committee
- Nominations Committee
- Student Activities Committee
- Technical Program Committee
- Awards Committee

Section 2

The Chair of the Standing Committees will be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee, and their terms will expire on the end-of-term date of the Section

Chair.

Section 3

Each Committee Chair will appoint his/her Committee members, with the approval of the Section Executive Committee, and their terms will expire on the end-of-term date of the Committee end-of-term date of the Committee Chairs'.

Section 4

Duties of the Standing Committees will be as generally described in the IEEE Section Operations Guide.

ARTICLE IV --- Management

Section 1

The management of the Section shall be by the Section Executive Committee which shall consist of the elected officers, the Past Section Chair and the following:

Standing Committee Chairs
representatives of Chapters,
such other members appointed by the Section Executive Committee,
and such other members appointed by the Section Chairman.

The number of voting members elected must be at least one greater than those appointed.

Section 2

A majority of the Section Executive Committee shall constitute a quorum, provided that delegates elected by the Section membership are at least one greater in number than delegates appointed to the Committee.

Section 3

A majority of the Section Executive Committee present shall be necessary in the conduct of its business.

Section 4

Meetings of the Section Executive Committee ordinarily will be held at least twice a year and will be called by the Section Chair or by a request of an three members of the Section Executive Committee.

Section 5

The fiscal year of the Section shall be the calendar year.

ARTICLE V --- Nomination and Election of Officers

Section 1

A nominating Committee consisting of three members, not then officers of the Section, shall be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee.

Section 2

The nominations of the Nominating Committee will be announced to the Section membership and, following this, a minimum of 28 days allowed for additional nominations by petition. To be valid, the petition must be signed by 2% or more voting membership.

Section 3

If only one nomination is made for each office, the election will be made at the Annual Meeting. If

additional nominations are made, election will be by ballot, mailed to the membership with the vote counted by a Tellers Committee appointed by the Section Chair.

Section 4

The timetable for this procedure is as follows:

Appointment of Nominating Committee:	by August 31
Announcement of Nominations:	by September 30
Close nominations by petition:	by October 31
Hold election:	by November 30

Section 5

A plurality of the votes cast shall be necessary for election.

ARTICLE VI --- Business Meeting

Section 1

In order to transact business at a Section meeting, at least 3 members must be present to constitute a quorum.

ARTICLE VII --- Finances

Section 1

All expenditures of Section funds must be approved by Section Treasurer or Chair.

Section 2

Without prior authorization of the IEEE Executive Committee, Section funds can be used only for normal operations of the Section.

Section 3

The treasurer shall be authorized to draw funds as approved by the Section Executive Committee.

ARTICLE VIII --- Amendments

Section 1

Proposals for amendments to these Bylaws may originate in the Section Executive Committee or by a petition signed by 20% or more voting members.

Section 2

Amendments to or revocation of these Bylaws shall be in accordance with the IEEE Bylaws, RAB Bylaws and RAB Operations Manual.

IEEE 関西支部技術講演会 企画実施要領

IEEE 関西支部
Technical Program Committee

1. 受付、承認の手続き

- (1) 受付：IEEE 関西支部役員、関西支部メンバー等から下記提案項目に基づいて TPC (Technical Program Committee) に提案する。
IEEE 関西支部主催 技術講演会として推薦する内容
- ・講演者氏名、所属
 - ・講演予定日時、場所
 - ・講演予定内容 (タイトル、アブストラクト) (英文可, 200-300words)
 - ・講演者略歴 (英文可, 100-300words)
 - ・IEEE 会員へのメリット (会員への講演の関連性、推薦のことば)
 - ・推薦者氏名、所属、(IEEE 関西支部役職)
 - ・担当者氏名・連絡先 (tel, fax, e-mail)
 - ・共催とする場合の共催組織名
- (2) 承認：
- (i) TPC は、講演内容の重要性、貴重性、関連性などを検討する。
 - (ii) IEEE 関西支部技術講演会として適当であると判断した場合、TPC 委員長が、IEEE 関西支部役員会に提案する。判断材料として、講演者の経歴、講演内容、推薦文などを用いる。
- (3) 企画：支部で OK ができれば、推薦者、講演者、会場提供者と TPC が連絡をとって講演会詳細を詰めて、案内文を作成する。
- (4) 案内：案内文を支部 General Secretary に送付して、WWW 掲載、e-mail 配布 (東京支部) を依頼する。
- (5) 参加受付：TPC Secretary が参加申し込みを受付ける。
- (6) 会場準備：会場を提供する組織が、案内・受付スタッフを出す。
- (7) 当日運営：IEEE 関西支部挨拶、司会者などは (共催先と相談して) 柔軟に運用、なるべく TPC から司会者または挨拶者を出す。
参加者には名簿に記入していただく。(参加者数の把握とデータベース化)
- (8) 費用負担：IEEE は会場費を負担しない。謝礼は IEEE 関西支部が出す。
ただし IEEE Fellow および IEEE Distinguished Lecturer は無料奉仕として謝礼は支払わない。
- (9) 事後報告：TPC は IEEE 関西支部総会で、年間の開催実績を報告する。

2. Technical Program Committee Member

Chair: 山本 誠一 (ATR 音声言語コミュニケーション研究所 seiichi.yamamoto@atr.co.jp)
Vice Chair: 大森 裕 (大阪大学 ohmori@casi.osaka-u.ac.jp)
Secretary: 三好 正人 (日本電信電話 miyo@cslab.kecl.ntt.co.jp)

2005 年 IEEE 関西支部連絡先

〒530-8270 大阪市北区中之島 3-6-16
関西電力株式会社 研究開発室 研究企画グループ内
TEL : 06-7501-0335 FAX : 06-6441-9864
e-mail: sec@ieee-kansai.org
Web URL: <http://ewh.ieee.org/r10/kansai/>